

高槻市富田町6の道標



南面
文字なし



東面
大阪府



北面
茨木 大阪



西面

西面	左（指差像）	高槻街道	高槻	山崎	京都
	右（指差像）	富田街道	鮎川	目垣	三島江

（『高槻の道しるべ』高槻市教育委員会発行、昭和58年刊では、No.13）

紀年が無いが、明治期によくある造りとなっており、明治期の作成とする。

即ち「大阪府」とある。「指差し像」が彫られている。

全面を平滑化しない。尖頭型で幅、奥行が24cm程度で細く感じる。「…街道」とある。行先が多い。等の特徴を持ち、よく似たものが多数残る。）

（明治の地図を見ると、富田の集落の南端に当たり、南へは「富田街道」が真っすぐに伸びるが、西へは、階段状に二回程南に折れた後、戸伏へ向かう道との四辻として描かれているが、東への道はすぐに途切れている。実質三叉路であったようで、西へ向かう道が古くは、尼崎道（明治には高槻街道）と呼ばれていたものと思われる。